

## 第6学年〇組 道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日(〇)第〇校時  
場 所 6年〇組 教室  
児童数 〇〇名  
授業者

- 1 主題名 思いやりの心をもって 内容項目 [B 親切、思いやり]
- 2 ねらい 親切な行動のよさや親切にするとときに大切なこととは何かを考え、話し合うことを通して、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする態度を育てる。
- 教材名 「最後のおくり物」(出典:「私たちの道徳」文部科学省)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

本時は、小学校第5学年及び第6学年の内容項目「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること」に関するものである。これは、よりよい人間関係を築く上で求められる基本的姿勢として、相手に対する思いやりの心を持ち、親切にすることをねらいとしている。

この内容項目について、他の学年との関連をまとめると以下ようになる。

小学校1学年及び 第2学年B	小学校3学年及び 第4学年B	小学校5学年及び 第6学年B	中学校 B
身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	相手のことを思いやり、進んで親切にすること。	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。

自分のことばかりを考えたり、自分の思いだけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできない。互いが相手に対して思いやりの心をもって接するようになることが不可欠である。思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。そのためには、相手の存在を受け入れ、相手のよさを見いだそうとする姿勢が求められる。親切とは、相手の立場を考えたり相手の気持ちを想像したりすることを通して、相手への思いやりの心をもって行動の決断をしたり、実際に行動をしたりすることだと考える。例えば、励ましや援助をすることである。相手への思いやりの心が親切の根源であるため、見返りは期待するものではなく、無報酬の行為であるということが前提にある。また、単に手を差し伸べることだけではなく、時には相手のことを考えて温かく見守ることも親切な行

為としての表れである。相手のことを親身になって考えようとする態度を育てることが期待される。

特に学校生活においては、学校の人々や友達など様々な人と直接的に多様な関わり合いをもてるようにすることが求められる。その上で、相手の立場を考えたり、相手の気持ちを思いやったりすることを通して、思いやりや親切な行為の意義を実感できる機会をつくっていくことが重要である。

小学校第5学年及び第6学年のこの段階においては、自他を客観的に捉えることができるようになってくる。そのため、相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて想像できるようになる。また、家の周囲や学校といった狭い範囲だけでなく、地域社会における公共の場所など活動範囲がより一層広がり、より多様な人々と接する機会が多くなっていく。

指導に当たっては、特に相手の立場に立つことを強調する必要があり、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考えた行動が求められる。また、人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、思いやりの心とそれが伴った親切な行為を、児童が接する全ての人に広げていくことも大切である。そこで、相手の立場を考えたり、相手のためになる言動は何かを考えたりして、誰にでも親切な行為を行えるようにしていくために、相手の立場に立った思いやりのある行動のよさを実感させたい。

## (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

相手の立場を踏まえて、相手のためになる言動は何か考え、思いやりをもって親切な行為ができるようにするために以下のような指導を行ってきた。

### ①学級活動

児童と学級目標を立てる際に思いやりや助け合いに関する意見がたくさん出るなど、思いやりや助け合いの大切さが必要であると考えている児童が多かった。思いやりに関する目標を立てて日常的に実践した結果、相手を思いやって親切にできる児童も増えてきているがまだ少ない。

### ②国語科

「話し言葉と書き言葉」では、話し言葉と書き言葉は伝える内容は同じでも、表し方の違いで、受け取り手に伝わる印象が変わるということを学習し、コミュニケーションをとる際の言葉を児童が意識して使い分けられるように指導した。その結果、児童は、身近な人を大切にし、思いやりをもって親切にしていくことが大切であるということがよく分かっている。そのため、友達の困っている姿を見ると自然と助け合う姿が見られる。その一方で、行動の裏の損得に大きく左右され相手への思いやりを欠いてしまったり、相手のことを考えすぎて行動に移すのを躊躇したりすることがある。

そこで、行動の裏の損得にとらわれることなく相手の立場に立ち、相手のことを思いやって行動することのよさや大切さを実感させていく。そのために、親切な行為は、相手が分かる状態、相手が分からない状態で受け取りやすさが違うことについても気付かせながら、相手の立場や気持ちを考えた上で誰にでも親切な行為を行いたいという意欲を高められるようにしたい。

## (3) 教材の特質や活用方法について

ロベータは、有名な劇団の俳優になることを志しているが、貧しく、養成所に通う余裕はなく、窓の下で窓ごしに練習を見て、熱心にメモを取っていた。そんなロベータのもとに、養成所の月謝代に使ってくださいという手紙とともに無記名でお金が届くようになる。養成所に通い始め熱心にロベータは、一生懸命に練習に

取り組んでいた。しばらくして、おくり物が届かなくなった。その後、ロベータは、ジョルジュじいさんがお金を置いている姿を見かける。しかし、ジョルジュじいさんは、体を壊しており、ロベータへの最後の言葉と手紙を残し亡くなってしまったという内容である。

自分のことを伏せたまま、ロベータを思って親切な行いを続けるジョルジュじいさんを中心に考えさせる。親切にするときには相手の立場を思いやって行動することが大切であり、相手を思って行動することの難しさや親切な行為のよさを考えるために、名前を伏せたジョルジュじいさんに自我関与させる。ジョルジュじいさんが、おくり物を送り続けている間、感謝などの見返りが無いながらも、幸せを感じていた様子から、価値理解を深めさせる。

そのために、本時は、深化を意図して授業を行い、以下の流れに沿って、考えを深めることができるようにしていく。

思いやりのある親切な行為を向けられるよさについて考えさせるために、おくり物をもらったロベータに共感させる。

相手のことを思いやり、名前を伏せたまま送り続けたジョルジュじいさんの行動の難しさについて自分自身との関わりで考えさせるために、「なぜジョルジュじいさんは封筒に名前を書かなかったのか。」と問題提起し、受け取りやすさを考え陰ながら応援するジョルジュじいさんに共感させる。また、名前を明かして、渡していた場合についても考えさせ、受け取る側の思いについても触れ、親切にするときに大切なことについて考えを深める。

見返りがなくとも相手のことを思いやった行動をとることのよさについて実感を伴って考えさせるために、後悔することなく幸せを感じているジョルジュじいさんに共感させる。

#### 4 指導の工夫

##### ① 学習課題の明確化

導入では、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図るために、アンケートを活用し親切にしたいと思ってもできない自分の経験を想起させ問題意識をもたせる。

##### ② 児童相互の話合いを深める手立ての工夫

児童に親切のよさや大切さについて多面的・多角的に考えさせるために、ペアや小グループでの話合いや意図的指名、問い返しの発問を適宜行い、ねらいとする道徳的価値について児童一人一人が課題に対する納得解について導きだせるようにする。

##### ③ 板書の工夫

それぞれの立場や考えを想起しやすくするために、ロベータとジョルジュじいさんを対比的に示す。ねらいとする道徳的価値についての考えを対比的に示し、学習の流れや児童の思考過程が見えるようにする。

##### ④ ワークシートの工夫

振り返りでは、教材を離れ、書く活動を通して、ねらいとする道徳的価値の自覚及び自己の生き方について考えを深めさせる。話合い前と話合い後に同じ発問をすることで、児童が成長の様子を感じることができるようにする。

##### ⑤ 発問の工夫

自分との関わりで道徳的価値を理解するために「なぜジョルジュじいさんは封筒に名前を書かなかったのか」と問題提起し、切実感をもって考えさせる。

5 学習指導過程

段階	学習活動(○主な発問)	・予想される児童の発言	・指導上の留意点 ☆評価の視点	
導入	<p>1 「親切にするときに大切なこと」について考える。</p> <p>○親切にするときに大切なことは何でしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを考える。</li> <li>・相手のことを思いやる。</li> <li>・相手によって区別しない。</li> <li>・進んで動く。</li> <li>・勇気を出して行動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親切についてのアンケートの結果を提示し、親切にしたいと思ってもできない自分の経験を想起させ問題意識をもたせる。</li> <li>・授業全体を通して追求していく学習問題を掲げて問題意識をもたせ、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。</li> <li>・日常生活と関連付けながら、自分事として考えられるようにする。</li> </ul>	
		<div data-bbox="268 837 1426 1697" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p><b>問題意識をもたせる導入</b></p> <p>T : 親切にしたかったけどできなかったことはありますか。</p> <p>C : 席をゆずれなかった。</p> <p>C : 落とし物をした人に声をかけられなかった。</p> <p>T : 親切にするよさはわかっているけどできないことがありますね。</p> <p>T : じゃあ、親切にするために大切なことってなんだろう。</p> <p>C : 大切なのは勇気だと思います。初めての人に声をかけるには勇気が必要だからです。</p> <p>C : 経験だと思います。だれかに優しくされることがあると、自分もできるから。</p> <p>C : ぼくも同じ。アンケート結果からも優しくされると気持ちがわかる。</p> <p>C : 相手の気持ちを考えることだと思います。困っているか困っていないかを分らないと。</p> <p>C : ぶっきらぼうではなく、優しく声をかけること。</p> <p>T : どういうこと？</p> <p>C : 無理矢理やると、おし付けられているみたいで。</p> </div> <div data-bbox="852 875 1343 1218" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>「アンケートより」</p> <p>①親切にしてもらったこと ある⇒31人 ない⇒0人</p> <p>②親切にできたこと ある⇒26人 ない⇒5人</p> <p>③親切にすることは大切だと思うか はい⇒31人 いいえ⇒0人</p> <p>④親切にしたかったけどできなかった ある⇒22人 ない⇒9人</p> </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 10px;"> <p>⑤親切にするよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も相手も気持ちがよくなる。嬉しくなる。</li> <li>・相手が助かる、喜ぶ。</li> <li>・親切にした相手からいつか助けてもらえる。</li> <li>・相手にお礼を言われる。</li> <li>・人と仲よくできる。人からの信頼を得られる。</li> <li>・自分にも思が返ってくる。</li> <li>・心があたたかい気持ちになる。</li> </ul> </td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="437 1715 1102 1783" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>親切にするときに大切なことは何か。</p> </div>	<p>「アンケートより」</p> <p>①親切にしてもらったこと ある⇒31人 ない⇒0人</p> <p>②親切にできたこと ある⇒26人 ない⇒5人</p> <p>③親切にすることは大切だと思うか はい⇒31人 いいえ⇒0人</p> <p>④親切にしたかったけどできなかった ある⇒22人 ない⇒9人</p>	<p>⑤親切にするよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も相手も気持ちがよくなる。嬉しくなる。</li> <li>・相手が助かる、喜ぶ。</li> <li>・親切にした相手からいつか助けてもらえる。</li> <li>・相手にお礼を言われる。</li> <li>・人と仲よくできる。人からの信頼を得られる。</li> <li>・自分にも思が返ってくる。</li> <li>・心があたたかい気持ちになる。</li> </ul>
<p>「アンケートより」</p> <p>①親切にしてもらったこと ある⇒31人 ない⇒0人</p> <p>②親切にできたこと ある⇒26人 ない⇒5人</p> <p>③親切にすることは大切だと思うか はい⇒31人 いいえ⇒0人</p> <p>④親切にしたかったけどできなかった ある⇒22人 ない⇒9人</p>	<p>⑤親切にするよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も相手も気持ちがよくなる。嬉しくなる。</li> <li>・相手が助かる、喜ぶ。</li> <li>・親切にした相手からいつか助けてもらえる。</li> <li>・相手にお礼を言われる。</li> <li>・人と仲よくできる。人からの信頼を得られる。</li> <li>・自分にも思が返ってくる。</li> <li>・心があたたかい気持ちになる。</li> </ul>			

2 教材「最後のおくり物」について話し合おう。		・本時は、教材を通じて「親切にするときに大切なこと」について考えることを伝える。
<p>ロベータは、有名な劇団の俳優になることを志しているが、貧しく、養成所に通う余裕はなく、窓の下で窓ごしに練習を見て、熱心にメモを取っていた。そんなロベータのもとに、養成所の月謝代に使ってくださいという手紙とともに無記名でお金が届くようになる。養成所に通い始め熱心にロベータは、一生懸命に練習に取り組んでいた。しばらくして、おくり物が届かなくなった。その後、ロベータは、ジョルジュじいさんがお金を置いている姿を見かける。しかし、ジョルジュじいさんは、体を壊しており、ロベータへの最後の言葉と手紙を残し亡くなってしまふ。</p>		
<p>(1) お金の封筒を受け取ったロベータはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>(2) どうしてジョルジュじいさんは名前を明かさないままおくり物をしていたのでしょうか。</p> <p>・直接名前を明かして渡していたらどうだっただろう。</p>	<p>・嬉しい。 ・ありがたい。 ・誰がくれたんだろう。 ・お礼がしたい。 ・受け取っていいのかな。</p> <p>・見返りを求めていたわけじゃない。 ・恩着せがましく思われたくない。 ・陰ながら応援したい。 ・名前を明かしたら受け取りにくいと思ったから。</p> <p>・受け取りにくい。 ・安心して受け取れるけど、相手のことが気になる。 ・もらい続けるのは申し訳ない気持ち。</p>	<p>・思いやりのある親切な行為を向けられるよさについてロベータに自我関与して考えさせる。</p> <p>・相手のことを思いやり、名前を伏せのまま送り続けたジョルジュじいさんの思いについてジョルジュじいさんに自我関与して考えさせる。</p> <p>・親切にするときに大切なことについて考えを深めるために、名前を明かして、渡していた場合についても自我関与して考えさせる。</p>
<p><b>価値理解を深める話合い</b></p> <p>T：ジョルジュじいさんはどんな気持ちでお金を送っていたのだと思う？</p> <p>C：期待をしていたから。</p> <p>C：お金がないのがいけないからお金を送って頑張してほしい。</p> <p>C：お金がないと夢をあきらめてしまうかも知れないから、お金を渡した。</p> <p>T：確かに、そう思っているのなら、<b>直接渡せばいいのでは。なぜ、名前も書かず、直接渡さなかったのだろう。</b></p> <p>C：お金を返さなきゃいけないとロベータが思ってしまうから。</p> <p>T：自分なら気にする？</p> <p>C：名前があると気になってしまう。練習にも身が入らない。</p>		

価値理解を深める話合い

- C：名前があると気になってしまう。練習にも身が入らない。
- C：人によっては、お金が迷惑になってしまう人もいる。
- C：自分は自分で頑張っているからと断ってしまうかも。
- T：この気持ちってどこに向いているの？だれのため？
- C：ロベージュ
- T：もしもこの気持ちをレベルで表すと、どのくらい？（高さで表して）

(3) ジョルジュじいさんは見返りのない親切なのにどうして幸せを感じていたのだろうか。

3 学習問題について考えをもつ。

○誰かに親切にするときにどんなことを考えて行いたいですか。

- ・困っているロベージュを助けられたから。
- ・ロベージュの頑張る(喜ぶ)姿が見られて嬉しいから。
- ・陰ながら応援するのが嬉しい。
- ・夢を託せたから。
- ・ロベージュの活躍が楽しみだから。

- ・親切にするときは、相手のことを思いやって行動する。
- ・どのように行動することが相手のためになるか相手の立場になって考えて行動する。
- ・自分の思いばかりを主張しないようにする。

☆自分の意見と友達の意見を比べながら聞き、友達の考えを聞いて気付いたことや考えたことを伝えようとしている。  
(発表、つぶやき、表情)

- ・見返りがなくとも相手のことを思いやった行動をとることのよさについてジョルジュじいさんに自我関与して考えさせる。

・これまでの学習から、誰かに親切にするときに大切なこととは何かを考え、これからの自分自身の生き方につなげていく。  
☆親切にするときに大切なことについて、自分の生き方と関連付けながら考え、ワークシートに書いている。  
(発表、つぶやき、表情、ワークシート)



8 板書計画

**親切にするときに大切なことは何か ～最後のおくり物～**

**親切にするときに大切**

- ・相手のことを考える
- ・相手を思いやる
- ・進んで動く
- ・優しく接する
- ・笑顔

・相手の立場に立つこと

・相手のことを思いやる

・相手が喜ぶことを考える

・見返りを期待しない

**幸せ(^\_^)**

- ・困っているロベージュを助けられた
- ・かげながら応援するのがうれしい
- ・よろこぶ姿が生きがいがいい
- ・夢をたくせた

**名前を書かない**

- ・かげながら応援したい
- ・名前を明かすと受け取りにくくなる
- ・見返りを求めていたわけじゃない
- ・ロベージュが受け取りやすくなるように

ロベージュのことを考えてる

思いやりの心☺